



復興てらこ屋(第2回)『河川堤防と防潮堤について考えよう』まとめ

▽主催：復興みなさん会、宮城大学地域連携センター
 ▽後援：すばらしい歌津をつくる協議会、復興まちづくり推進協議会
 ※記載内容に関するお問い合わせ： 及川清孝(090-6227-0608)

南三陸町では住居の高台移転に加え、河川堤防や防潮堤など、様々な分野の復興事業が進められています。南三陸の歴史・風土に根ざした復興を成し遂げるためには、住民が正確な情報を持ち、考え、議論する場が必要であると私たちは考え「復興てらこ屋」を開催しております。

12月14日(金)に開催した復興てらこ屋(第2回)「河川堤防と防潮堤について考えよう」では、宮城県気仙沼地方振興事務所の方にお越しいただき、現在進められている伊里前漁港の海岸防潮堤についての話題提供を頂いた後、参加者同士で意見交換を行い、代表的な疑問についてお答え頂きました。住民約30名が参加し、活発な意見交換が行われました。

1. 伊里前漁港の海岸防潮堤について (話題提供)

宮城県気仙沼地方振興事務所の方にお越し頂き、伊里前漁港の海岸防潮堤についてご説明頂きました。



- ・まだ説明会も開催していない(案)である。意見を聞かせてほしい。
- ・防潮堤は、8.7mの高さで建設を予定している。
- ・伊里前川左岸堤防から港側に元の堤防の高さの通路を通す。その通路の陸側に防潮堤を設計している。
- ・伊里前川の右岸・左岸共に堤防から海側におりる道路を計画している。
- ・管の浜は、河口部に水門を設置する。その両側は逆T字型の防潮堤となる。魚竜館から半島側は、山の斜面を背負う形の堤防を想定している。

3. 質問とその回答

意見交換を通じて挙げられた質問から11点について、話題提供頂いた気仙沼振興事務所の方にご回答頂きました。

- ①**逃げ道の安全(決壊)は、考えているか?**
 ⇒地域のまちづくりの絵柄と、整合性を取って考えていく。町が計画するの道路、橋の位置と調整して検討していく。
- ②**伊里前と管の浜の間にも津波は来たが、整備をしないのか?**
 ⇒この道路はT.P.8.7m程度で、L1の想定高さより低い。既存の道路を使う場合にはなんらかの施設整備が必要だと考えている。
- ③**8.7mという防潮堤の高さの変更は、考えられないのか?**
 ⇒志津川湾の設定は8.7mである。現段階では、変更されない。位置や形状については、意見を頂きながら検討していきたい。
- ④**河川道路に対しての取付道路は、どうなるのか?**
 ⇒防潮堤から内陸側につながる道路については、国道・町道との接続となる。国や町の計画と調整して設計したい。
- ⑤**人海のように海へ降りることが出来るのか?**
 ⇒親水という観点でもこの程度まで考えるかである。伊里前については、防潮堤から海側が漁港施設ということがあり、利用される方の利用状況にも配慮しながら検討を進めている。
- ⑥**海産物への影響はどう考えているのか?**
 ⇒基本的には、海側になるべく出ないよう設計している。景観にもできるだけ配慮しながら進めたい。景観・環境に配慮した方法が今回の災害復興事業で導入可能かどうか随時国と確認しているが、まだ定量的に環境影響をお話できる段階ではない。公共事業によって海産物に影響が出た場合の補償は、一般的には議論できない、個別の事業毎に十分に住民・漁業関係者と協議しながら進めたい。
- ⑦**水門を作る場合と作らない場合の違いは?**
 ⇒明確な基準はない。県管理の河川は、水門は作らない方向である。大半の水門施設は今回の津波で壊れた。また、水門は人為的な操作が必要で人の被害を誘発する懸念がある。管の浜では、水門でなくバックホウを作る土壌が足りないので水門としていない。(住民)遠隔操作の水門も可能なのは、伊里前川でも同じなのでは? ⇒電動の水門を作る部分までは予算確保できているが、遠隔操作の部分までは未定な状況で計画している。

- ⑧**コンクリートの耐用年数が過ぎたらどうするのか?**
 ⇒減価償却期間としての60年という基準はあるが、土木技術的には一概には言えない。適切な補修・メンテナンスをすれば、一定期間は機能すると考えている。その一定期間後は、立て直しではなく、補強工事となる。
- ⑨**住居や職場が整ってから防潮堤を整備してもよいのでは?**
 ⇒この計画は、災害復旧事業として予算を確保しているもの。この予算を今回の災害では平成27年度まで国が補助すると聞いている。そうした終期設定がある中で、ある程度目標が必要になる。
- ⑩**住民の声を聞かずに進めているのはなぜか?**
 ⇒立場的には寄り添っている。第1防潮堤が重要だと認識は持っており、現在予算化している。そういった事情で遅れが出たのは申し訳ない。話し合いの場は重要だと考えている。
- ⑪**防潮堤を内陸側にセットバックすることはできるのか?**
 ⇒現在の基準では海岸から50m程度セットバックできる。今の案では、従前の防潮堤から海側に出ることはできるだけないようにしている。まちづくりの観点でもっと内陸にセットバックという意見が出れば、検討に値すると思う。



2. 参加した住民同士での意見交換

ご参加頂いた住民の皆さんで、河川堤防や防潮堤計画について、意見交換を行いました。「率直な感想」「わからないこと・聞きたいこと」「その他ご意見・ご要望」について、様々な意見が挙げられました。その全てを記載します。



- 【今日の説明について】
- とても詳しく計画について説明してくれたと思う。
- 解らないことだらけである。
- 防潮堤と河川堤防の話に矛盾がある。
- この計画は100%決定なのか? □計画の変更は可能か?
- 漁師の仕事の仕方を理解していないように受け取れる。

- 【進め方について】
- なぜ、住民に説明会を開かず業者と契約したのか?
- 予算のからむ漁港事務所、土木事務所だけでなく、観光部門などにも計画に参加してほしい。
- 縦割り行政の壁を取り去って地域として考え、計画してほしい。
- 役場の人事異動で人が変わり、責任の所在が不明確である。
- 県の担当者は引き継ぎをきちんとしてほしい。
- 国の方針を変更してもらうにはどうすればよいのか?
- 伊里前の住民の気持ちは考慮しないのか?
- 住民からの意見書などを受け付けないのは問題ないのか?
- 高さについての住民からの意見書を受け付けないのか?
- いくら議論しても高さは変えられないのか?
- 河川、港、道路、全ての部署が関わった説明会をしてほしい。
- 計画を立体模型や3Dで説明してほしい。
- 復旧ではなく新しい考え方で進めてはどうか?
- 伊里前の人だけの問題ではない。山の人も一緒に考えよう。
- 逃げることを中心にした住民の啓発が重要である。
- 住民側に防災意識を高める工夫が必要である。

- 【道路との関係について】
- 防潮堤から海側に行ける道があると初めて知った。
- 防潮に上り降りする道はどうなるのか?
- 船揚場へはどう行くのか。□船揚場、物揚場への道路がわからない。
- 河川道路に対する取付道路はどうなるのか?
- 道路は一方通行になるのか? □道路は混雑しないのか?
- 漁港へ降りる道は山側のどことつながるのか?
- 畜木方面に行く道はどうなるのか?
- 管の浜から伊里前の岸壁にはどうやっていくのか?
- 利用しやすい海岸道路が必要である。□背後地の嵩上げは?

- 【水門について】
- 水門は8.7mに対応している? □水門の開閉は遠隔操作?
- どうして伊里前川に水門を作らないのか?
- 水門を作る場合と作らない場合の基準は何か?
- 川は今のままで良い。

- 【海産物や自然環境への影響】
- 海産物への影響を心配している。
- 海産物への影響が出た場合、どう責任をとるのか?
- 海の自然環境への影響はどう考えているのか?
- 工事により焼畑などの自然破壊が心配。(前例があるらしい)
- 自然保護を考えた計画であってほしい。
- 護岸を下げ、手前に松や公園や防潮林を作してほしい。

- 【海と人間との関わりへの影響】
- 子供たちが海に親しむ場所がなくなる。
- 海岸には歩いて降りられるのか?
- あさりの漁をするのにどうやって下に降りるのか?
- 海岸沿いを散策する場所がなくなる。
- 国道45号線から海が見えるのか? □海が見えなくなる。
- 海を見て仕事の手取りをしているのができなくなる。
- 防潮堤に当たった空気が乱気流となり離れた田んぼに吹きおろし、塩害になる。
- 住民の目が遮られ不法投棄などが増えるのではないのか?

- 【災害時の影響】
- 津波が来た時に漁港から逃げる車が渋滞することはないのか?
- 船揚場で働いている人はすぐ高台に逃げられるのか?
- 海から山側に逃げる道路はあるか? □逃げられる道を増やしてほしい。
- 海から逃げる場合の道路がわからない。
- 海から逃げる時は一度防潮堤を上って降りることになるのか?
- 海が見えないのは危険である。□海が見えないと避難できない。
- 周囲を山とコンクリート堤防に囲まれ、浸水したときの水の排水方法はどうするのか?
- 河川堤防で波が川を上り、内陸の人まで浸水の被害を受ける。
- 川の堤防を津波が上り、山手まで被害がある。

- 【漁港について】
- 第2船揚場に牡蠣の処理施設を作るのか?
- 防潮堤完成まで、第1防潮堤にトラポットを置いてほしい。
- 第1防潮堤はいつ完成予定? □第1防潮堤を最初に作ってほしい。
- 第2船揚場の護岸を早期に整備してほしい。
- 護岸が整備できないので、開口にいかない人もいる。
- 以前、漁竜館があった海岸は漁民に開放するのか?
- 今残っている管の浜を有効に活用したい。
- 船を保留(つないでおく)する場所がない。
- 管の浜のブロックを整備してはどうか?
- 【スケジュールについて】
- 防潮堤より漁港施設の復旧を急いでほしい。
- 防潮堤工事のスケジュールが当初の計画より遅れている。
- 全ての住民が高台移転や公営住宅に入居し、仮設住宅がなくなってから検討しても遅くない。
- 家を建てる方が優先である。
- 工事のたびに交通が遮断され、生活が長期に渡り不便である。